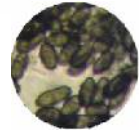


www.coriolis-air sampler.com
New generation AIR SAMPLER
Quick & reliable air control



オフィス内の空中浮遊黒カビ (*Stachybotrys chartarum*)の検出

RNSA
LABORATOIRE



RNSA ラボラトリー(フランス)

Contexte

フランス南西部の企業が、従業員からの頭痛と呼吸器トラブルの訴えにより、RNSA ラボラトリーに対しオフィス内の空気質調査を依頼しました。従来法(インパクション)によるこれまでのテストでは何も現れず、それ以前の数週に亘りオフィス内に水漏れがあったことが報告されていました。黒カビ汚染が疑われ、調査が実施されました。2009年1月、多数のオフィスと部屋内でコリオリスμによるサンプリングを実施しました。解決策の提示後の3か月目と6か月目にさらに調査を行い、除染の効果を確認しました。

Material

- コリオリスμ、滅菌済サンプルカップ、滅菌済捕集液 (0.005% トライトン)
- ”スコッチテスト” (表面サンプリング)
- 光学顕微鏡

Protocol

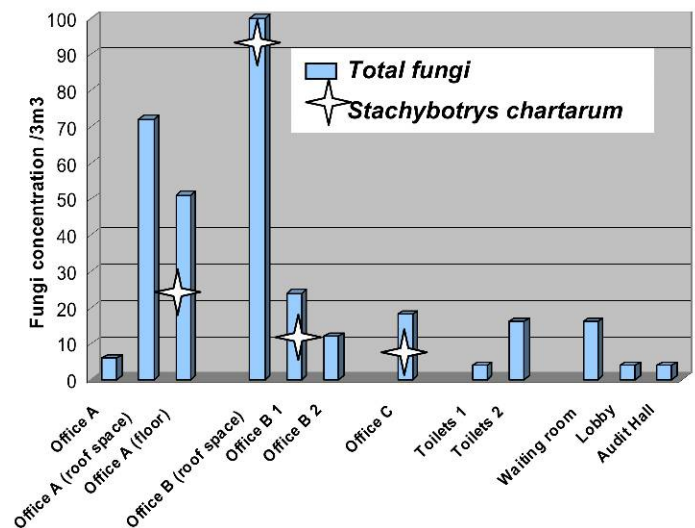
- コリオリスμ (n=12) : 空気捕集毎分 300L、10 分。
RNSA ラボラトリーが独自開発した手法により解析
- “スコッチテスト” (n=7) の後、着色して顕微鏡観察

Results

コリオリスμ : アルテルナリア、クラドスポリウム、クロカビのような高濃度カビをオフィス3室と特定の屋根空間から検出。

“スコッチテスト” : 最も汚染度の高い屋根から黒カビのみを検出。

➡黒カビはヒトカビ毒症の原因となるマイコトキシンを作り出す悪性カビで、“シックハウス症候群”の一因ともなり、その存在確認は非常に重要です。これは健康に悪影響を及ぼし、吐き気、鼻出血、めまい、呼吸器トラブルなど、従業員が訴えたような症状を引き起こします。



Conclusion

従来法では結論付けられなかったオフィス内の黒カビの存在がコリオリスμによって明確になりました。湿気問題解決のため、即座に積極的アクションが取られました。6か月後に実施されたサンプリングによると汚染ビル内に黒カビは存在しませんでした。コリオリスμによるサンプリングと光学顕微鏡法による同定についての RNSA ラボラトリーの専門知識が、オフィス内の環境衛生問題を確実に解決しました。

04131-203-SL013

